

自己肯定感を育てる視点



様々な場面で、「自己肯定感」という言葉を耳にする機会が増えてきているように感じます。これは、長所も短所も含めた今の自分をありのまま認める感覚です。自己肯定感が高まることは、メンタルが安定し、ストレスに強くなること、人間関係が円滑になること、新しいことに挑戦できる等、様々な面で良い影響を与えてくれます。子供の自己肯定感を育てるには、短所を直すことよりも、長所やできる部分に注目して心を十分に満たすことが不可欠です。

学習面においては、小さな達成感を連続して得られる「スモールステップ」が重要です。できない問題が解けるようになった瞬間こそが学びの機会であり、間違いを成長へ向けたチャンスととらえることが大切です。また、結果や学習進捗を「見える化」し、時間制限などのゲーム要素を取り入れることで、「自分自身との競争」を楽しみながら自発性を引き出すことも有効です。

さらに、周囲の大人の言葉がけでは、「いいね」「さすがだね」といった日常的な「承認」の言葉をかけることや、「あなたらしいね」という全肯定の表現を意識して積み重ねていくことに効果があります。

このような視点に留意することで、子供の自己肯定感を育てていきたいと考えます。(校長 開田 晃央)

美乃浜スポーツ祭

No Limit ～最高速度でぶち抜いたる～



雨で延期となったスポーツ祭でしたが、26日(火)に清々しい青空の下、スポーツ祭が執り行われました。今までの部活動が地域展開へと移行していくこととなった昨今、児童生徒全員で学校行事に参加することを最優先と考え、本年度から平日開催となったスポーツ祭。保護者の皆様には、仕事の都合を調整し、たくさんの方々に応援に来ていただき、大変ありがたく思っております。本年度は、予行練習も実施せずに本番に臨みましたが、例年同様に係の児童生徒が意欲的に活動してくれたお陰で、大きな問題も無く、円滑に進行することができました。児童生徒を温かく導き、サポートをする教員の姿にも、頼もしさを感じました。競技や演技においても、児童生徒が一生懸命に取り組む姿、輝く笑顔に、成長を感じた時間でした。毎年恒例ではありますが、目を輝かせて生き生きと踊る1・2年、3・4年の表現と、その姿を温かく見守りながら一緒に踊る後期課程の生徒たちの姿に、1～9年生が一つとなり温かい雰囲気を出したスポーツ祭となりました。敬老種目に参加して下さった来賓や地域の皆様、児童生徒に温かい声援を送って下さったり、終了後もテントや椅子を片付けて下さったりした保護者の皆様、ご協力をいただき、ありがとうございました。



3年生サツマイモ苗植え体験

5月28日(木)3年生がサツマイモ苗植え体験を行いました。今年も講師の大内様に苗の植え方やコツを教えていただきました。「こんなに広い畑に全部植えるのは大変だね。」と夢中になって苗を植える児童たち。今後、総合的な学習の時間において地元の特産品について学びを深めていきます。



4年生イチゴ収穫体験

5月20日(水)4年生がバインベリー収穫体験をさせていただきました。小池様の話を聞き、赤いイチゴの実を丁寧に収穫しました。とてもうれしそうな笑顔でイチゴを頬張り、「甘い!」「おいしい!」とあちらこちらから感嘆の声が上がりました。この体験で得た「なぜ?」「すごい!」を今後の学びにつなげていきたいと思ひます。

